



オヤスのオニモン
ダイブントウ



ミツのオニモン
ダムタダ



イナカワのオニモン
ツルコシじん



コジマのオニモン
カジユマイ



イワキのオニモン
フシカシマ



ヤマダのオニモン
ライス4



ミサキのオニモン
とりいんぼー



キスイのオニモン
リキスイ

ジオパークってなに？



「自分の住む場所は、何もない所だ」
そう思いませんか？それはただ、自分の
住む場所について知らないだけかも知れません。
少し見方を変えるだけで、いつもの風景から地球の
歴史や大地の歴史、人々の歴史が刻まれた「宝物」を見
つけることができます。その身近な宝物を発見し、一
人ひとりが住む場所を誇りに思うようになると、地
域が元気になるきっかけになります。ジオパーク
ではそんな宝物を発掘して教育などに活用し
つつ、未来へと伝えていけるよう守っ
ていく活動をしています。

日本ジオパーク委員会が認
定する日本ジオパーク(●)は、全部
で39地域あります。そのうち8地域は、世
界ジオパークネットワーク(※)が認めたユネ
スコグローバルジオパーク(★)です。ジオパー
クを目指す地域も含め、56地域が日本ジオ
パークネットワークに加盟しており、新しい
ジオパークは毎年増えています。
(数字は2016年6月現在)
※世界ジオパークネットワークの活動は、
2015年にUNESCOの正式事業にな
りました。

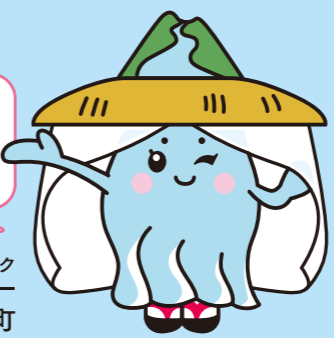
ゆざわジオパーク

YUZAWA



ゆざわジオパークは、秋田県の南端にある湯
沢市全域を範囲としています。
湯沢市には日本海を流れる対馬海流の影響
で、冬に水蒸気をたくさん含んだ空気が流れ込
みます。それが奥羽山脈にぶつかることで上昇
気流になり大量の雪が降ります。そんな雪国
で、人々はどのように生きてきたのでしょうか。
ゆざわジオパークの大地と人が織りなす物
語に、耳を傾けてみませんか。

たくさんの
見どころのうち
いくつかをご紹介します



ゆざわジオパーク
キャラクター
しず小町



イノシシのオニモン
カルデラス



イノシシのオニモン
シルバロー



オノのオニモン
おのつた



アキノのオニモン
ミカゲ

来てたんせ！

ゆざわ ジオパーク



湯沢市ジオパーク推進協議会



アキノのオニモン
おけのゆまの



タカマツのオニモン
ふわりかげ



コスモスター
タカマツのオニモン



オクヤスのオニモン
もりてつ

ジオガイドのお申込み
ゆざわジオパークガイドの会事務局
〒012-0827 秋田県湯沢市表町2-2-10 JR湯沢駅観光案内施設内
TEL:0183-56-6226 Email:yuzawageoguide@yutopia.or.jp
基本料金 ガイド1人につき 1時間1,000円
※コースやご予算のご相談やご質問など、お気軽にご連絡ください。

ジオパークに関するお問い合わせ
湯沢市ジオパーク推進協議会事務局
〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1-1 湯沢市役所観光・ジオパーク推進課内
TEL:0183-55-8195 Email:geopark@city.yuzawa.lg.jp



ゆざわジオパーク『見えない火山』の物語

いにしへの 火山の恵み あつき雪 いかして築く 歴史と暮らし (ゆざわジオパークキャッチコピー)

ゆざわジオパークには、現在活火山はありません。しかし、人々が湯沢に暮らし始めるずっと前にはたくさんの火山噴火が起きていました。その噴火の名残や噴火によってできたものは、湯沢の至る所で見ることができます。そして人々はそれらを上手に活用しながら生きてきました。

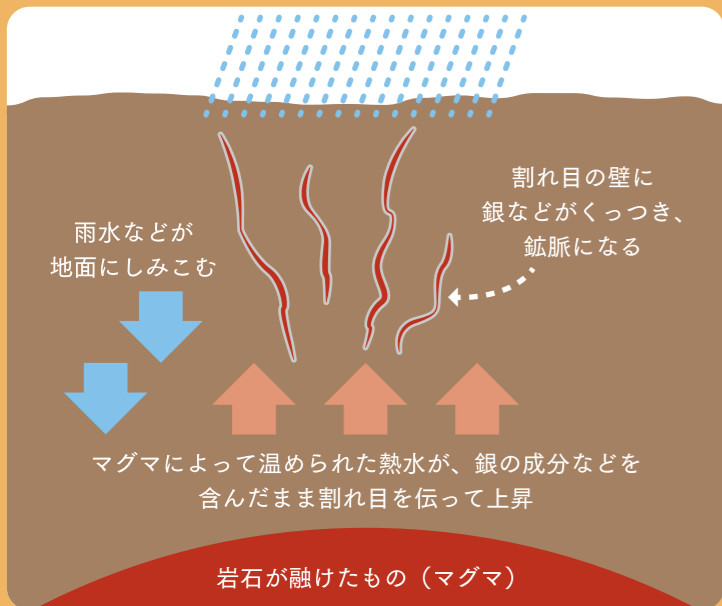
銀で築き



湯沢にはかつて鉱山がたくさんあり、特に江戸時代にとっても栄えた銀山がありました。鉱山を目的に多くの人々が集まり、それをきっかけに様々な産業がおこることで、今の湯沢市の基礎ができたと言われています。



これらの鉱山の多くは、火山活動の一部である地下のマグマの影響でできたものです。湯沢の鉱山は、湯沢の地下でマグマが活動していた証の一つなのです。

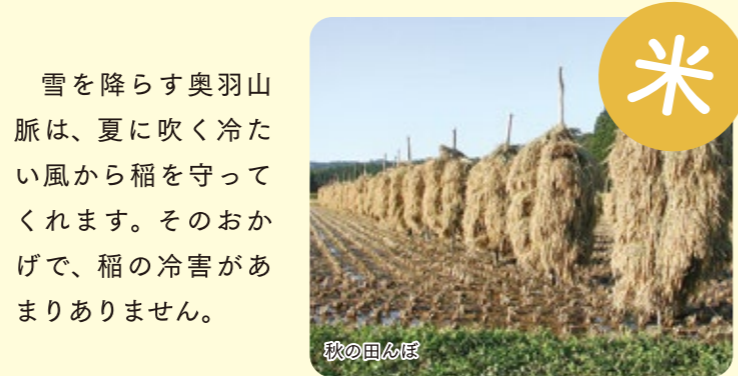


清水と共に歩み

鉱山と共に発展した産業の一つに、日本酒があります。日本酒は鉱山で働く人々に愛され、大量に消費されていました。しかし、日本酒が湯沢の一大産業の一つになった理由は、それだけではありません。湯沢にはおいしい日本酒を作る条件がそろっていました。



湯沢は特別豪雪地帯に指定されるほど、雪の多いところです。雪はやがて融けて豊かな水になります。



雪を降らす奥羽山脈は、夏に吹く冷たい風から稲を守ってくれます。そのおかげで、稲の冷害があまりありません。

室内の温度を一定に保つため、酒蔵は院内石という石で作られていました。火山噴火でできた石で、断熱効果があります。



湯沢では、水によって作られた地形を上手に活用した産業も盛んです。三関地区では、豊かな水が山から大量の土砂を運び、それが平地に堆積することで扇状の地形(扇状地)をたくさん作りました。扇状地の山側は果樹栽培に適していて、特にさくらんぼは農家の人々の努力もあり日本一の品質と言われています。扇状地の平地側では、根っこまで食べられるセリの栽培もおこなわれています。



農業と地熱の融合も行われています。高校生が考案し販売している、温泉の熱を利用した乾燥さくらんぼ(ミッチェリー)や、乾燥切干大根なども作られています。温泉は地熱により温められた地下水で、地熱は火山活動の一部です。また、温泉はハウス栽培や牛乳の低温殺菌などにも活用されています。



地熱で未来を切り拓く



湯沢で火山噴火が起こったのはずっと昔の事ですが、火山活動が終わってしまったわけではありません。湯沢の地下ではまだ火山の活動が継続しており、川原毛地獄や小安峡大噴湯などをはじめ、様々な所でその活動を垣間見ることができます。

川原毛地獄では、硫化水素の発生はあるものの、その特徴を知り安全に見学することで、火山活動によって作られた神秘的な風景を楽しむことができます。私たちの生活を脅かすような火山由来の災害が少ないことも、湯沢の「見えない火山」の特徴です。



湯沢では、地熱発電も注目されています。上の岱地熱発電所の稼働、山葵沢地熱発電所の建設、小安地域および木地山・下の岱地域での地熱調査など今後の事業展開に大きな期待が寄せられています。

まだまだ見どころはたくさんあります。興味をもたれたら、是非ガイドさんと回ってみてください。風景に隠れたヒミツを教えてください。ジオガイド利用のお問い合わせ先は裏表紙をご覧ください。

